

# バス案内表示板の設置について

# 1 バス案内表示板設置の必要性・目的

## JR高松駅におけるバス利用のメリット

- ・市内各方面のバスが全て発着  
⇒どこでも行ける
- ・中心市街地では多くの路線が重複  
⇒待たずに行ける

交通結節拠点として、**バスの発着は充実**

ギャップ

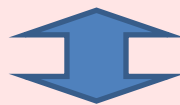
## JR高松駅におけるバス利用の問題点

- ・多数の乗り場(系統により異なる)  
⇒どこに行けばいいのかわかりにくい
  - ・乗換案内がない  
⇒目的地までの移動時間がわからない
- とにかく利用者にとって**わかりにくい**  
(利用が低迷)

既存ストックを最大限活用できる**利便性の高い情報提供が必要**

既存の情報提供ツール

- ・バスの時刻表や乗換案内 ⇒ 携帯端末で確認可能(ことでんHPにて提供)



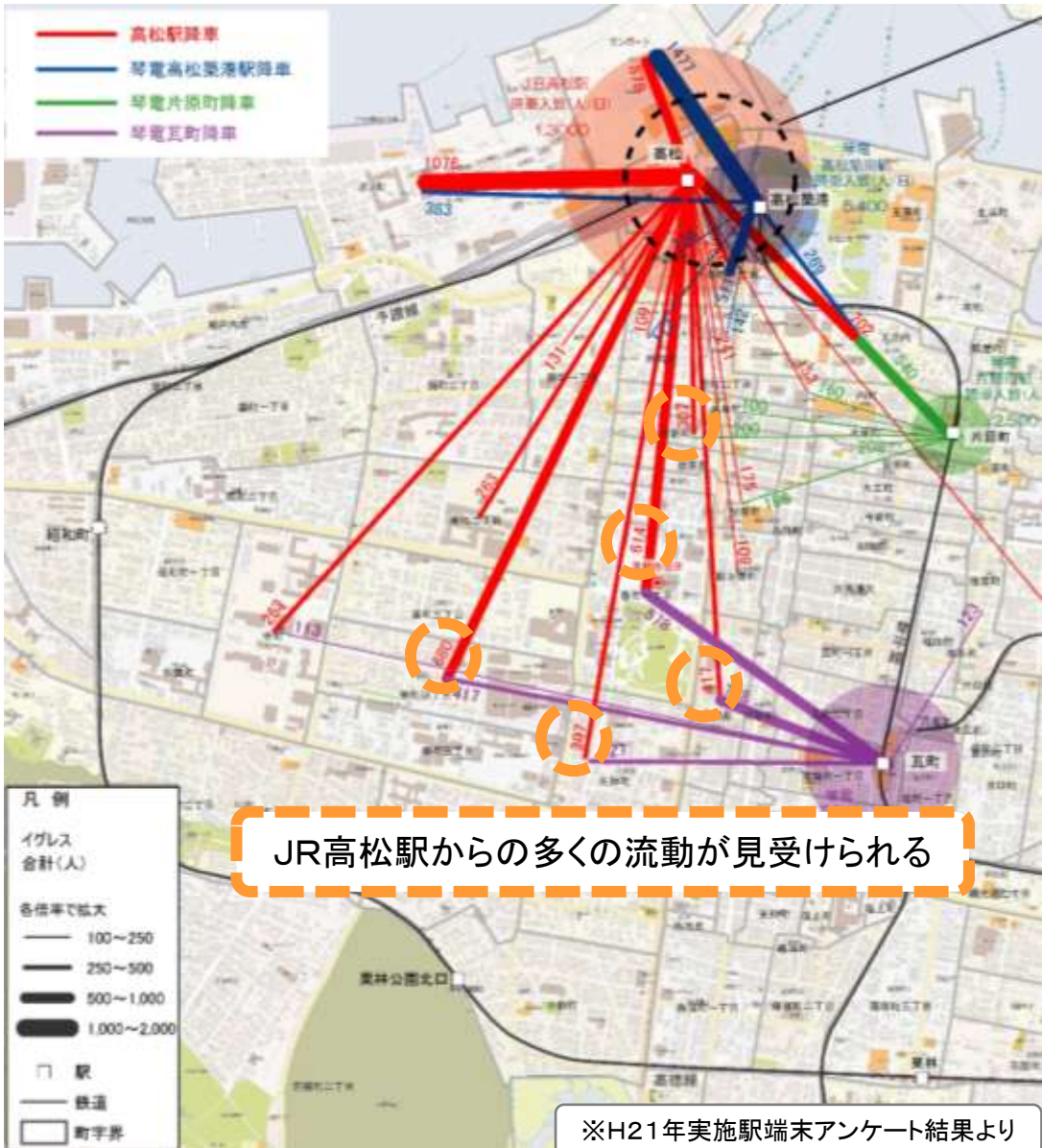
県外からの観光客や携帯端末に不慣れな高齢者にとって、  
分かりやすい情報提供ツール(情報表示板)を設置

利用環境の充実により、公共交通利用促進を図る

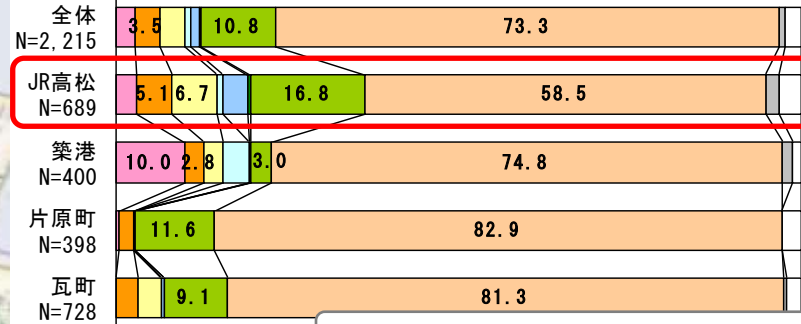
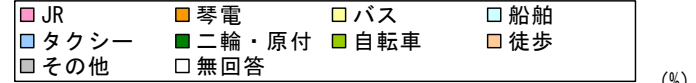
本市地域公共交通網形成計画(H27. 3策定)における重点取組施策の推進  
(施策番号⑧:利便性の高い情報提供)

## 2 駅降車後に多く存在する短距離移動

主要各駅(JR高松、高松築港、片原町、瓦町駅)からの流動



### 駅降車後の移動手段分担率



※H21年実施駅端末アンケート結果より

約6割が徒歩であり、バス利用はわずか7%

### 抵抗を感じない距離(徒歩)

条件	一般	高齢者等
90%が抵抗なし	300m	100m
大きな荷物所有時	150m	80m
降雨時	150m	10m

※バスサービスハンドブックより



抵抗のある距離を超える流動が多くあり、潜在的なバス利用需要が期待できる

### 3 表示情報

#### 郊外部

郊外部の各路線の次発時刻を表示  
⇒従来の案内表示

時刻表  
【各系統別】

路線図  
【広域】

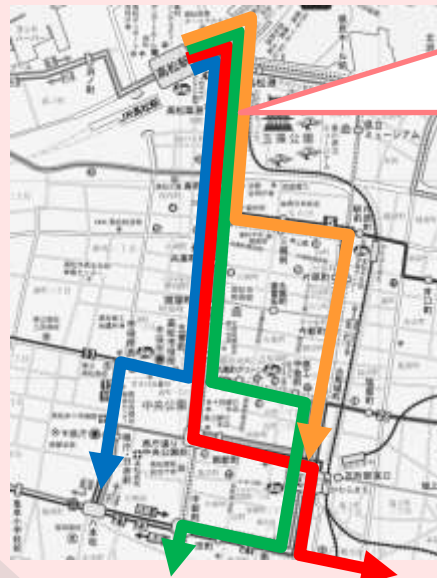
時刻表  
【方面別】

路線図  
【中心部拡大】

#### 中心市街地

#### 新しい視点

郊外に向けた路線が複数重複するルート  
を大きく3~4種類に大別し、高頻度な運行情報  
を提供 ⇒乗車率の低い中心部における  
ちよいのり利用増を図る



中心市街地における  
ちよいのりを  
3~4種類に大別

大別された  
各方面における  
次発時刻  
を表示

方面	乗り場	時刻	行先
青	5	10:30	弓弦羽
赤	10	10:25	西植田
緑	3	10:32	塩江
橙	7	10:28	レインボー

「郊外部」と「中心市街地」とにターゲットを分別した分かりやすい情報を提供